

### 1 自己評価及び第三者評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2893000816		
法人名	スターツケアサービス株式会社		
事業所名	グループホームきらら尼崎武庫之荘		
所在地	兵庫県尼崎市武庫之荘本町 3-12-23		
自己評価作成日	令和3年12月29日	評価結果市町村受理日	令和3年3月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ兵庫福祉調査センター		
所在地	尼崎市南武庫之荘2丁目27-19		
訪問調査日	令和4年1月25日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

これまで暮らしてこられた本人の生活歴や暮らし方を知る事により、その方の想いを共感し、できる限りこれまでの生活を継続しておこなって頂けるよう支援させて頂いています。出来る事をみつけ、一緒に参加していただきながら【共に一日を作る】ことがきらら尼崎武庫之荘の特色です。そして、ご高齢になられても、生き活きと暮らして頂けるよう努めております。

#### 【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設4年のホームで地域にも認知されいく中にコロナに合い何かひっそりとの感はありますが、中は職員と利用者が和気あいあいと過ごされているホームである。今年度はコロナに全員かからなかったが、今迄の地域との交流や外出は全て無くなりましたが、事業所の理念「一日一日を、ご利用者とする」と「明日行きたいと思える職場作り」掲げ目標に向かって職員の努力されている姿が元気をもたらしているホームです。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 令和	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	企業理念に取り入れ、職員と共有している	企業理念「人の心を大切にし、ふれあいを通じて笑顔・安らぎ・喜びを提供します。」を額に入れ事業所の理念(一日一日をご利用者様と作る)「明日、行きたいと思える職場作り」を朝礼時と会議時と確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 相談は	コロナ禍で外出が出来ない状況が続いたが、10月頃から徐々に外出できるようになってきた為、地域での買い物や食事を実施している	コロナ禍で交流は全て中止になっているが、ホームの庭やバルコニーにて外気浴・季節感を味わっている。以前は子供達の訪問やボランティアの来訪が有り、楽しく過ごしていたが、早くその時を心待ちにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポート養成講座の実施をしてきたが、現在自粛している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	長らく中止し資料配布にておこなってきたが、12月より開催している	運営推進会議は現在中止で、資料を家族を含めて送付している。平常時は出席者のご意見を運営に反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加いただいている	市の介護保健課と訪問やメールにて連絡を取り連携しており、コロナ禍でのマスクや消毒薬等を頂いている。細かい事は地域包括支援センターと相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の実績はない。研修をおこない拘束のない取り組みを実践	身体拘束禁止委員会は全員にて二ヶ月毎に開催され、職員全員主旨をよく理解している。スピーチロックにも注意し職員間にも、何かあれば注意し合える関係が出来ている。玄関のキーは道路が前にあり安全の為施錠されている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修を行いつつ、お互いに関わり方を意識しながら虐待防止に取り組んでいる	虐待防止に関しても身体拘束と同様に二ヶ月毎に研修がされており、理解されている。管理者は職員に対して虐待のストレスが無き様に配慮している。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人について現在対応中であり、必要に応じて勉強している。	現在成年後見制度利用者は1名おり、相談事は管理者が対応し研修は、職員の研修指導者が年1回されている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行い、同意の上署名・捺印を頂いている	入所時に利用者・家族に対して十分に時間をとり重篤や看取りに対して出来る事、出来ない事を説明し、理解を頂きサインをもらっている。途中介護度・法令の改正があれば再度、説明し同様の処理をしている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、ご家族からの意見等反映できる仕組み作りをおこなっている	利用者・家族よりは入所時に十分時間をとり把握に努めている。要望は運営推進会議時や来場日・家族に送付している生活状況シート等により把握に努め運営に反映させている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、及びユニット会議にて話合う場を作り意見や提案を反映する機会を設ける	職員の要望は月1回の全体会議・ユニット会議にて要望等を確認している。職員からは認知に関する研修の要望が有り、今年度は資格の受験に対して、支援されていくとの事です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年、考課制度を活用しつつ、ボーナスや給与に反映している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTシートの活用及び社内研修の実施をおこなっている		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会へ参加していたが現在は、感染症対策の視点から中止されている		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者情報シートを基にアセスメントをおこなっている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や入居前情報を通じ、ケアプランに反映させて同意を頂いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時にアセスメントをおこなっている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活を共に作るという気持ちを大切に、コミュニケーションを図っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と小まめに連絡を取り合いながら、ご利用者の状態や家族の意向を共有している		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	元の暮らしを支えて来られた友人等の人間関係を継続できるようその方たちも大切に支援している	コロナ禍で外出や来客等の機会は余り取れないが来客に対してはコロナ対策をして15分以内で二人迄の対応で受け入れもされている。現在迄コロナ患者はいないとのこと	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクを通し他者と関わりが持てるよう橋渡しをおこないながら支援している		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの終了したご利用者家族と、連絡を取り合っている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを通じて本人の要望や希望を導き出しケアプランに反映している	利用者のこれまでの生活を把握し、どのような生活を送りたいのか本人に聞くことを基本としている。思いや意向を把握する時は、自立支援という視点から、ご本人に何が出来ないかではなく、何が出来るか？どうすれば参加出来る事か？を探すようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、生活歴や昔の馴染み等の把握をおこないケアに活かしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントを通じて本人の生活のペースを考えケアに活かしている		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を随時おこないスタッフから意見を聞きつつ、ケアプランを作成、更新している	ユニットリーダー・スタッフ・ケアマネ(又は管理者)による担当者会議により、ケアプランを作成・更新している。必要な時は本人・家族が参加。モニタリングを毎月行い、入居時1か月・退院後3か月・通常6か月に見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録へ入力し、気分様子や特別な事等を共有しモニタリングを基にケアプランの見直しをおこなっている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関とも連携し、多様なサービスを活用できる様調整している		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を職員と共有し少しずつではあるが、ご利用者の支援へ役立っている		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医もしくは、本人や家族の希望する病院にて受診できるよう支援している	入居の際にこれまでのかかりつけ医を聞いている。本人や家族がこれまでのかかりつけ医を希望される場合(現在1名)は継続してもらっている。月2回協力医療機関の内科医の往診がある。その他整形・眼科等の受診は基本的に家族による受診となっている。希望により歯科医の往診もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師と常に連絡を取り合い、適切に受診対応ができるよう支援している		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には、病院と連携しカンファレンスをおこなう等スムーズな連携を行っている	コロナ禍での面会が出来なかった為、退院前カンファレンスは実施出来なかった。退院時、看護師、医療ソーシャルワーカーと電話で話し合い、退院時サマリーを参考に支援している。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りについて1名経験あり。終末期についてご家族と検討しつつ対応をおこなっている。	看取りは開設初年度にあった。入居時に重度化した場合の対応について事業所の対応可能な範囲について説明している。重度化した場合は、医師の判断で回復の見込みがないと診断された場合に家族と今後の事を相談して決めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを備えており、緊急時の対応について職員と共有している。定期的に研修をおこなっている。		
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練があれば参加したい。事業所で1年に3回、避難訓練をおこなっている。(12月・6月・9月に実施)	年3回(日中の火災による避難訓練・火災による夜間想定避難訓練・水害による避難訓練)を実施。3回の内、1回は消防署の立ち合い・指導があった。停電対策用の電池式懐中電気、缶詰・水・オムツ等を備えている。地域とは近隣の商店街との日頃の交流や民生委員との連携により災害時における協力関係が築かれている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をしている	身体拘束廃止委員会や全体会議等で提言していきながらお互いに注意し合える環境を作っている。	「ちょっと待って」「座ってて」等の一方的な声掛けは禁止、常に【お願い言葉(～してもいいですか?等)】で話すように申し合わせている。日頃のケアにおいてプライバシーを損なわないようドアノックやトイレドア等にも注意を払うようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択できるように声掛けをおこない自己決定を促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活の中でも本人の意思を尊重しその方のこれまでの暮らしの継続ができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服をご自分で選んで頂くことや、整容をお手伝いし綺麗にする事で、自分に自信がもてるよう支援している。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	コロナ禍で一緒に買い物へ行く事は出来ないが、リクエストメニューやパーティーメニュー等で楽しんで頂いている。昼食・夕食はご利用者と共に調理している。	利用者の嗜好を反映したメニューとし、昼・夕共に毎日、利用者と一緒に調理し、職員も一緒に同じ食事を楽しんでいる。食事形態(刻み食等)は職員が対応しておこなっている。月1回はリクエストメニューやおやつレク等を楽しんでいる。現在コロナ禍で外食は中止となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を観察し、ご本人に合った食事量・食事形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをおこなっている。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、声掛けや誘導をおこない記録にて共有している	排泄介助の研修は年1回実施している。座位の保てる方はトイレに座っての排泄を促し、又、極力オムツは使用しないように努めている。(現在はいない)	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルトやヤクルト等の提供をし自然排便を促している。朝食後は、体操や廊下・リビングの歩行訓練を実施している		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のお誘いをし、気分が乗らない時は、入りたい方と入浴日を変更し調整している	平均週2回の入浴となっている。毎日入浴したい方は家族が対応して週末は帰宅して入浴されている。温泉の素やゆず湯・リンゴ湯で入浴を楽しんで頂いている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休める環境を作り、本人のペースで休息できるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤は薬剤師が管理し、職員の介助により確実に服薬できるよう支援している。薬が変更になった際は、全職員で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人のこれまでの生活歴を知り、興味のある事や好きな事を継続しておこなえるよう支援している		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で外出が出来ない日が続いたが、10月頃より個別で外出支援をおこなっている。(公園・レストラン・和菓子屋・コンビニ等)	コロナの感染状況を見ながら、個別での外出支援を行っている。しかし、12月に和食「さと」へ行って以来、外食は中止となっている。近隣の公園への散歩は月1～2回程度行っている。事業所内の畑やお花の世話で外気に触れるようにしている。	



自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人とご家族の意向により、金銭を所持し買いたい物を購入している方もいる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	リビングに電話を設置し、希望時に使用できる環境を整えている。 携帯電話を所持している方もいる。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いたような雰囲気心を掛けている。 季節を感じられる工夫をしている	季節毎の飾りを施している。落ち着いた過ごせるように、リビングの家具の配置を工夫したり、馴染みの入居者同士が部屋で過ごせるよう配慮している。ウイルス対策として1日2回の消毒・空気入れ換え・加湿・毎食前後の手洗いが徹底している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室対応でもあり、休息の時間は居室で自由に過ごせるよう支援している		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまでご自宅で使用してきた馴染みのある家具や食器等を使用して頂けるよう支援している	自宅で使用していたテーブル・タンス・仏壇等を置き、自宅同様に暮らして頂けるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や場所が分かりやすいよう工夫している		

## 基本情報

事業所番号	2893000816
法人名	スターツケアサービス株式会社
事業所名	グループホームきらら尼崎武庫之荘
所在地	兵庫県尼崎市武庫之荘本町3-12-23 (電話)06-6437-1001


【情報提供票より】(令和3年12月29日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成 30 年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 名
職員数	18名	常勤 6名 非常勤 12 名 常勤換算 12.3 名	

### (2)建物概要

建物構造	木造造り 2階建ての1・2階部分
------	---------------------

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	69,000 円	その他の経費 水道光熱費 15,000円 /月		
敷 金	138,000 円	管理料 12,000 円/月		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	又は1日(1,300)円			

### (4)利用者の概要(令和3年12月29日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	7 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88 歳	最低 76 歳	最高 96 歳		

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	祥風会 立花みどりクリニック 医療法人社団 大隈病院附属歯科クリニック
---------	-------------------------------------

(様式2(1))

事業所名 グループホームきらら尼崎武庫之荘

### 目標達成計画

作成日 令和4年3月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあいがほとんど出来ない。	コロナ禍で買い物や外食へ出かける事が難しいが、きらら新聞を発行し事業所内での行事や取り組みを地域の方々へ知ってもらおう。	きらら尼崎園田と協働し「きらら新聞」の発行を計画している。第一号を夏までに作成したい。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(様式2(2))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 ( ↓ 該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )